

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもプラス宜野湾教室		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 13日	～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 13日	～	令和8年 2月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々のミーティングにより児童一人一人の様子を詳しく話し合い、気持ちに寄り添った対応を行っている。	子どもたちの様子で気になる際には、特に学校の先生方へお声掛けしその日の様子を確認した上で対応している。	保護者様にも当日の学校の様子、デイでの様子をお伝えし、気持ちの切り替えなどに対する対応を行っている。また、保護者様からも方向性を伺い、良き療育となるよう協力体制をいただいている。
2	各ご家庭の悩みや気になる事などを毎月、療育に行かせるようにいつでも話を聴ける体制を整えている。その為に、「家族支援」を利用し、必要な際は予定を立て、ご家庭や事業所やお電話にてお話を伺い、同じ方向性で対応できるようお伝えしている。	送迎の際は、どの職員でも対応できるよう保護者様へ当日の様子をお話しし、必要な際は共有する時間を設けている。	ご家庭へデータやお手紙に必要な研修や情報をお伝えしている。
3	子どもたちが成長できるようなプログラムを職員が日々考え、一緒に取り組みながら、こども一人一人に合った療育を行いながら成長できるようなプログラムを作成している。	同じような療育でも、マンネリ化しないように工夫し、相談しながら活動内容を考え取り組んでいる。	屋内だけでなく、屋外の公園等でも活動し、出来なかった活動がどれだけできるようになったかなどを観察し、それによって更に会議を行い、日々の療育の質を考えている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	第三者による外部評価を行っておらず、療育改善につなげられないように感じられること。	会社全体での評価や会社の内部評価などを行い、外部評価同様に課題や改善に対して取り組んではいるが、さらなる療育改善につなげたいと感じている。	外部評価が無い事を意識して、内部だけでなく、保護者の意見や会社全体での評価を行ってもらっており、課題は常に課題として考え、良くするように取り組んでいる。
2	「父母の会」を設けておらず、保護者様からはお互いで話をする機会が少ないと感じられること。	いつかは「父母の会」を立ち上げ、お互いの悩みや共有が出来る機会を多く設けたいという希望はあるが、日々の療育とは別の時間や曜日を設定するには、職員体制や組織的な変更が必要で取り組むことが難しく、課題として毎年挙げられている。	改善点として、療育中の家族参加出来る行事や兄弟間一緒に取り組める活動等を取り入れるイベントを開催するなどして工夫改善する必要がある。
3	家族様に対する家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加出来る研修会などの機会が少ないと感じているご家庭がある事。	ご家庭に対しては、事業所で家族支援プログラムを開催する機会を設けておらず、外部の研修や地域のお知らせ、研修日より等をお便りや写真でLINE報告を行っているが、その件数が少ないと感じているご家庭も少なくないとわかった。	必要と思われるご家庭には積極的に家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の情報を流しているが、全体にも同じように情報を流し、ご家庭との日々の情報交換での困り感があれば、情報があることをお伝え出来るようにする。